事務事業	■サービス音	8門									20				11.7	
→ 787 年 未 No./名 称	□支援部	1 健福	- 47					玉]保組台	合支援事業						
主管課	保険年金課				朗语	理										
分野名	水灰干亚 麻					関連課										
日標																
(目標値)	市内に居住	市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族の安定した医療保障を図る。														
人口等の	データ区分		22年	-度		21年度				20年度			備考			
データ	人口		77,16			176,669人				176,484人			∙各年4月1日			
	世帯数	78,812世帯				78,131世帯				77,430世帯			(住民基本台帳)			
	事業の対象者数		1,182				,214人			1,269人						
運営資源	決算値(千円)		118干				22千円			127千円						
状 況	(国・県)		0千				0千円			0千円						
	(負担金等)	0千円				0千円			0千円			_				
	(一般財源)		118 T		122千円				127千円			1				
	人員配置数 0.1人						0.1人									
		、件費(千円) 890千円		-円	941千円					1,001千円						
	協 働 の															
+ 25 + 44	パートナー	1.000 T III			-		000 T III			1 100 T II	1					
事務事業	総事業費(千円)	1,008千円				1,063千円				1,128千円						
運営経費	市民1人当		٥П	,		6円				6円						
	りの経費(円)		6円	1	4											
	対象者1人 当りの経費(円)	100円				100円				100円						
×> +	団体名			J	+		100[]	T		100[]	1	<u> </u>	Ī		ı	
ベンチマーク (県内外自治体	凹体名				+											
や民間団体と																
の比較値)																
指	評価		年度	21호	F度	22年	度		23年度	24	年度		最終年	度(年度)	
		E	目標値													
◎目標を達成 ○目標に向かっ	て前進 △横ばい ×後退		<u> </u>	実績値												
中車業に会まれる	小古巻の部/17/		t O HIII 7	モルウエン												

評価の視点	①効率性	事業費や人件	費に削減余	地はないか。		②妥当性		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。					
	③有効性	事業の成果が行場合影響がある		るか。事業を休	止・廃止した	④公平性	受益	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。					
小事業名		H22決算値	評価	適切=〇	、要改善=△((評価の視点を参照	震) =	⇒ 方向性		€•拡大 B:₹ 含縮小 E:廃		∷改善・見直し	
国保組合支援事業		118千円	①効率性	△ ②妥当性	△ ③有効性	生 △ ④公平性	Δ =	⇒ □A	□В	□С	□D	■E	
		事業の概要	保険事業の	の健全化と事業	運営の支援の	の一助とする目的	で、国	民健康保険	組合へ補	制金を交付	けする。		
			①効率性	②妥当性	③有効性	生 ④公平性	=	⇒ □A	□В	□с	□D	□E	
		事業の概要											
			①効率性	②妥当性	3有効性	生 ④公平性	=	⇒ □A	□В	□c	□D	□E	
			①効率性	②妥当性	3有効性	生 ④公平性	=	⇒ □A	□В	□C	□D	□E	
			①効率性	②妥当性	③有効性	生 ④公平性	=	⇒ □A	□В	□C	□D	□E	
		事業の概要											
	_		①効率性	②妥当性	3有効性	生 ④公平性	=	⇒ □A	□В	□c	□D	□E	
		事業の概要											

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)										
H22年度の課題	当該補助事業の廃止について対象団体の理解を得られていない。また、補助額の増額要望が毎年出ている。									
課題解決のための取組	補助額の増額要望団体に対し、当該補助事業の廃止の方向性を示し、補助金単価を減額した。									
未解決の課題	当該補助事業を廃止できなかった。									
今後の方針	制度の廃止に向けて関係団体の理解を得られるように努める。									
	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	Е	※ 口事業完了	課長名	保険年金課長 相澤 昭弘					

個別事業の概要								
小事業名		ザイムスコード				個別事業の評価結果		
			県建設連合国保組合補助金 	78		口適切	■見直し余地あり	
		19	県建設業国保組合補助金	48	47	□適切	■見直し余地あり	
	主な							
	個							
国保組合支援事	個別							
業	事業							
	耒							
						口適切	□見直し余地あり	
	÷							
	主な							
	個別事							
	別事							
	業							
						口適切	□見直し余地あり	
	+							
	主な個別							
	個							
	別							
	事業							
	*							
						□適切	□見直し余地あり	
	主な個別事							
	個							
	別							
	事業							
	未							
						□適切	□見直し余地あり	
	主な個別事							
	は個							
	別							
	事							
	業							
						口適切	□見直し余地あり	
						_~	_,5_0,,	
	主							
	主な個別							
	10							
	事							
	業							